

令和4年度大阪府立大学工学部 機械工学科同窓会理事会次第

日時：令和4年9月11日(日) 13:00～14:30

場所：Web会議

議題：

会長挨拶

理事会成立要件の確認

[報告事項]

1. 会報第42号発行について 2
2. 新入会員歓迎パーティーの中止、学業優秀賞の副賞贈呈について 4
3. 大阪府立大学校友会理事会について 5
4. 大阪公立大学校友会理事会について 17
5. 大阪公立大学機械工学科同窓会の設立について 23
6. その他

[協議事項]

1. 2021年度決算報告について 31
2. 2021年度会計監査報告について 35
3. 理事・会長の交替・新任について 37
令和4年度 理事役員・役職交代及び退任（敬称略順不同）
令和4年度の会長について
4. 次年度の活動について 39
5. 公立大学機械工学科同窓会との組織統合に向けた計画について
6. その他

以上

【報告事項 1】会報第42号発行について

1. 会報42号 発行費用

印刷部数	4,000 部	
郵便送付部数	3,549 部	
印刷費	574,801 円	
郵送費	305,214 円	(単価 86 円)
合計	880,015 円	

印刷費の内訳は次ページ。

御 請 求 書

2022年03月10日

大阪府立大学工学部 機械工学科同窓会 様

毎度お引き立てありがとうございます。下記の通りご請求申し上げます。

御請求金額： 880,015 円

お支払期限： 2022年03月31日



有限会社プリンティングサービス
代表取締役 二村 和義
http://www.printing-s.jp



〒538-0043
大阪府大阪市鶴見区今津南2-7-6
TEL: 06-6969-8111 / FAX: 06-6969-8112
E-mail: info@printing-s.jp

大阪信用金庫 はなてん支店
普通 0056789
有限会社プリンティングサービス

お振込みの際は上記振込先へお願いします。
振込手数料はご負担ください。

明細内容に関してご不明な点がございましたら、上記までお問い合わせ下さい。

納品日	商品名/オプション	単 価	数 量	単 位	小 計	納品先
【【会報42号】会報原稿印刷発送一式】						
2022-03-10	制作費	50,000	1	件	50,000	
	会報 企画編集構成					
	組版デザイン費	10,000	16	頁	160,000	
	会報 レイアウトデザイン作成					
	印刷費	1,000	16	部	16,000	
	会報 印画紙出力					
	印刷費	20	4000	部	80,000	
	会報 用紙					
	印刷費	13,600	4	部	54,400	
	会報 印刷 モノクロ					
	ポリ封筒1	11	3549	部	39,039	
	刷り色 紺					
	宛名兼振替用紙 A4	20	3549	件	70,980	
	ミシン加工 IDパスワード宛名出力					
	3点封入作業	12	3549	件	42,588	
	宛名 会報 大学からの案内(支給)					
	作業費	20	112	件	2,240	
	入金入力					
	作業費	50	146	件	7,300	
	新規入力 修正入力					
					消費税	52,254
	ゆうメール	86	3549	件	305,214	
	発送費					
					合 計	880,015

備考：封筒フィルム代金/振替・会報用紙代金→3月より値上がりをしております

【報告事項 2】 新入会員歓迎パーティーの中止、学業優秀賞の副賞贈呈について

1. 新入会員歓迎パーティーの中止

大学よりコロナ感染予防対策のために飲食を伴う集会の中止命令が出されたため、例年通りのパーティーは中止し、機械工学分野主催の表彰式にて下記 2 に示す副賞贈呈のみを実施した。

2. 学業優秀賞の副賞贈呈

大学院機械工学分野の大学院学業優秀賞（3名）、自動車技術会大学院研究奨励賞（1名）の計4名に贈呈

副賞：各書籍4冊

日本機械学会発行の機械実用便覧（@4,455円） 学術用語集機械工学編（@2,970円） 送料（0円）

令和3年度 学業優秀賞等 受賞者

- ・日本機械学会三浦賞（大学院）（副賞：日本機械学会）

機械工学分野：高瀬 夢人 君、福田 悠太 君

- ・大学院学業優秀賞

機械工学分野：西森 皓平 君、西岡 涼介 君、井上 貴弘 君（副賞：機械工学科同窓会）

- ・自動車技術会大学院研究奨励賞（副賞：機械工学科同窓会）

機械工学分野：福田 悠太 君

- ・白鷺賞（学域）（副賞：大阪府立大学）

機械工学課程：八木 悠斗 君

- ・日本機械学会畠山賞（学域）（副賞：日本機械学会） 機械工学課程：林田 佳恭 君

令和3年度大阪府立大学校友会第1回理事会議事録

令和3年度大阪府立大学校友会第1回理事会が、令和3年6月19日（土）午前10時30分より、大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学術交流会館とZOOMの併用にて校友会評議員会と同時開催された。

議事に先立ち、事務局から理事会の成立要件を満たしている旨の報告とともに、また、会議の形態がズーム会議を基本として開催することになったことについての承認を得て、理事会の成立を確認した後、津戸会長及び辰巳砂学長の挨拶があり、津戸会長が議長となって議事に移った。

《議事》

1. 役員の交代等について

議長から、任期満了に伴い、令和3年9月13日からの新役員を選出するにあたって、一部の役員が未定のことから、後日メールでの承認をお願いしたいとの説明があり、了承された。

2. 校友会入会状況について

事務局から資料2に基づき、令和2年度の校友会入会状況について説明があった。

3. 令和2年度事業・収支決算について

事務局から資料3-1に基づき、令和2年度に実施した卒業生による就職セミナー（卒業生との懇談会）、白鷺賞の贈呈等の事業について報告がなされた後、原田会計理事から、資料3-2に基づき令和2年度の収支決算等について報告、そして矢本監事から資料3-3に基づき監査報告がなされ、それぞれ了承された。

4. 令和3年度事業計画について

議長から資料4に基づき、令和3年度事業計画について提案がなされた後、1～11の項目について事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

5. 令和3年度予算について

議長から、資料5に基づき、令和3年度予算について提案がなされた後、事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

6. 大学統合に伴う新大学の同窓会組織の検討について

事務局から、資料6に基づき、新大学の同窓会組織（案）についての説明があり、新大学同窓会理事候補として8名が挙げられ、今後役職交代などでメンバーが入れ替わる可能性があることも含め、了承された。

（意見・要望）

現在、単位同窓会と校友会の会費を同時徴収してもらっているが、新大学同窓会でもぜひ同じように対応してほしい。

7. 大阪府立大学創基 140年記念事業について

基金事務局長から、資料7に基づき、創基140年事業について説明があり、各単位同窓会の創設や過去の記録などについてのアンケートの協力依頼があった。

(意見)

アーカイブで、府大の前身校の記念碑がどこにあるかなどの情報を紹介してほしい。

8. ホームカミングデーファイナルについて

事務局から資料8に基づき、ホームカミングデーファイナルの概要について説明がなされた後、原案のとおり了承された。

(意見)


ホームカミングデーと同日に、例えばt-site なんばで、Zoom を使って、単位同窓会の集まりをしても良いか。→個別に相談をお願いしたいと回答。

<その他>



- (1) 今回の理事会議事録署名人として浅井克仁副会長及び岩崎泰典理事が指名された。
- (2) 大阪市立大学の会報誌で、府大校友会会長と市大同窓会会長の対談が掲載されているため、各単位同窓会に配布することを説明し、了承された。

《議事録署名人》


大阪府立大学校友会理事会議長（会長）

津 彦 正 広 

大阪府立大学校友会副会長

浅 井 克 仁  

大阪府立大学校友会理事

岩 崎 泰 典 

令和3年度大阪府立大学校友会第2回理事会議事録

《日時》 令和3年11月29日（月）午後4時～5時

《場所》 ZOOM

《議事》

議事に先立ち、事務局から理事会の成立要件（会則第12条第5項、出席者名簿は別添）を満たしている旨の報告とともに、また、会議の形態がズーム会議として開催することになったことについての承認を得て、理事会の成立を確認した後、上田会長の挨拶があり、上田会長が議長となって議事に移った。

1. 評議員の交代等について

事務局から、資料1に基づき、評議員の交代について報告がなされ、了承された。

2. 役員の交代等について

事務局から資料2-1、2-2に基づき、役員の交代について、メールで承認されたプロセスの説明がなされ、了承された。

3. 校友会事務局体制について

事務局から資料3-1、3-2に基づき、校友会事務局長の採用について説明がなされ、了承された。また事務局より、資料3-3に基づき、新大学同窓会体制について説明がなされた。

4. 新大学同窓会(大阪公立大学校友会)の設立計画について

事務局から資料4-1に基づき、大阪公立大学校友会の役員について説明がなされた。また、資料4-2に基づき、大阪公立大学校友会理事の担当について説明がなされた。資料4-2に以下の2つの間違いがあり、口頭で訂正された。

- ・地域同窓会担当の市大側候補： 小西理事(誤) → 生野理事、小西理事の2名(正)
- ・監事候補者は、記載しない(削除する)

評議員会には、修正した資料で報告することとし、了承された。

(意見)

- ・大阪公立大学校友会理事会の広報担当である山口副会長より、現在の活動状況などについて紹介があった。

5. 大阪府立大学創基140年記念事業について

事務局から資料5-1に基づき、創基140年記念事業の報告がなされた。また、140年記念事業の一環として、事務局から資料5-2に基づき、ホームカミングデーファイナルの実施報告がなされた。

上田会長より、アーカイブズ制作への協力のお礼と引き続き支援をお願いした。

<その他>

- (1) 今回の理事会議事録署名人として東野亨副会長及び北畠哲夫理事が指名された。
- (2) 事務局より、現代システム科学域知識情報システム学類の単位同窓会から府大校友会の評議員を出す同窓会になりたいとの希望があったことが紹介され、それについて意見交換した。来年度に、評議員を出す同窓会の基準などを決めて対応する方向で了承された。

出席者

《校友会役員》

会長 上田勝彦
副会長 津戸正広 東野 亨 辻川吉春 仁科亮子 山口舞子
会計理事 木下里香
理事 岩崎泰典 藤田勝久 北畠哲夫 西嶋和徳 吉田幸恵
監事 菊田久雄
(以上 13 名出席/役員 15 名)


《事務局》

校友会 中辻秀和
公立大学法人大阪 ステークホルダー連携推進室 中井勝雅 玉沖さやか


《議事録署名人》

令和4年1月13日


大阪府立大学校友会理事会議長（会長）

上田 勝彦 

大阪府立大学校友会副会長

東野 亨 

大阪府立大学校友会理事

北畠 哲夫 

令和3年度大阪府立大学校友会第3回理事会議事録

《日時》 令和4年1月17日（月）午前10時～11時30分

《場所》 ZOOM

《議事》

議事に先立ち、事務局から理事会の成立要件（会則第12条第5項、出席者名簿は別添）を満たしている旨の報告とともに、また、会議の形態がズーム会議として開催することになったことについての承認を得た。また会長が不在のため、津戸副会長が議長となることの承認を得て議事に移った。

1. 上田会長辞意への対応について

議長より、2021年12月末に上田会長から、体調不良のため辞意の表明があった旨の説明があった（資料1）。資料2に従って、山口評議員から校友会事務局・会長あてに出されたメールと返信メールの概要が説明された。

会則（第8条）に従って、副会長から会長代行者を選出し、新会長が決まるまでの間の会長業務を代行することで合意された。津戸副会長が会長代行に推薦され、出席者全員の賛同で承認された。

3月5日の評議員会までに理事会で新会長候補を選出し、評議員会で新会長決定を目指すこととした。会長候補選出に当たっては、従来の慣習（経済→工学→農学）で順送りする等に囚われずに選出すべきとの意見があった。

大阪公立大学校友会の理事については、新会長が決まるまで上田会長に留任してもらうことで合意された。

2. 事務局長（府大校友会・新大学校友会）採用について

事務局（中井）から、資料3に基づき事務局長採用に伴う法的な課題について概要を説明した。

津戸副会長、北畠理事他の方から、権利能力なき社団として事務局長の雇用については、雇用契約を校友会代表者の個人名で行うことで可能であるとの見解が示され、理事会として事務局長採用を進めることで合意した。

事務局（中井）から、資料4に従って校友会の人事計画が説明された。当初の計画（A案）通り、府大校友会の事務局長を採用して、4月以降は新大学校友会の事務局長も兼務してもらう方向で進めることで合意した。

採用に際しては、基本的に前回と同じ条件で、評議員の皆さんから候補者の推薦を募る。候補者は理事会で選考して最終決定する。

3. その他

- ・大阪公立大学校友会の活動費について

事務局(中井)より、大阪公立大学校友会の開設前の活動費として、府大校友会と市大同窓会から資金を貸し出すことについて口頭で打診があった。金額は各 100 万円程度の予定で、大阪公立大学校友会は、会費収入が得られたのちに返済する(次年度になる可能性がある)。

出席者から特に異議はなく、実施する方向で承認された。

・その他

校友会を法人化することが提案され、新大学の校友会も含めて今後の課題として検討する。

出席者

《校友会役員》

副会長 津戸正広 仁科亮子 山口舞子

会計理事 原田敦史 木下里香

理事 岩崎泰典 藤田勝久 北畠哲夫 西嶋和徳 吉田幸恵

監事 矢本博三 菊田久雄

(以上 12 名出席/役員 15 名)


《事務局》

公立大学法人大阪 ステークホルダー連携推進室 中井勝雅 玉沖さやか

《議事録署名人》

2022 年 / 月 2 / 日


大阪府立大学校友会理事会議長 (会長)
代行

津戸正広 

大阪府立大学校友会副会長

仁科亮子 

大阪府立大学校友会理事

藤田勝久 

令和3年度大阪府立大学校友会第4回理事会議事録

《日時》令和4年2月10日(木) 15時～15時40分

《場所》ZOOM

《議事》

議事に先立ち、事務局から理事会の成立要件(会則第12条第5項、出席者名簿は別添)を満たしている旨の報告とともに、会議の形態をズーム会議として開催することについて了承を得た。また、津戸会長代行が議長として理事会を進行することの承認を得て議事に移った。

1. 新事務局長候補の選出について

会則第12条4-6 その他会長が必要と認める事項として、新事務局長の選出を理事会で行うことが合意された。今回の事務局長の募集に対して、木下理事の推薦による1名の応募があった旨の報告があった。事前に応募書類(履歴書、職務経歴書)を共有した上で協議し、出席者全員一致でこの候補者を面接審査に進めることに決定した。面接審査は、津戸会長代行、東野亨副会長、藤田勝久理事の3名が行うことで了承された。面接は資料1の様式で各面接官が採点し、それを集計した上で、最終的に3名の合議によって決定することで承認された。

2. 新会長候補の選出について

まず、新会長の選出方法について、会長代行より

「理事会で、推薦された会長候補者から1名を選定し、評議員会で承認を得る」ことが提案され、承認された。

また、理事会での会長候補選出方法について、会長代行より以下の提案があり承認された。

(1) まず副会長の中から互選で候補者を出す(複数でも可)

(2) 理事会で上記候補者について審議して、最終候補者1名を決める

・複数人の候補者があれば、理事会で投票して最終候補を決める

・候補者が一人の場合は、過半数の承認で最終候補を決める

津戸会長代行より、新会長候補として仁科副会長が推薦され、出席した副会長全員が、仁科副会長を候補とすることに賛成した。その後、理事会全体の審議を行い、満場一致でこれを承認し、仁科副会長を新会長候補として評議員会に提案することに決定した。任期は、会則第9条により前任者の残任期間(令和6年9月12日まで)となる。

3. その他

・新事務局長の4月以降の職務について

議長より、新事務局長が採用となった場合、2022年4月以降は大阪公立大学校友会の雇用に変えて、大阪府立大学校友会の事務局業務は大阪公立大学校友会に業務委託する方向で検討する旨の説明があり、合意された。

出席者

《校友会役員》

副会長 津戸正広 東野 亨 仁科亮子 山口舞子

会計理事 原田敦史

理事 藤田勝久 北畠哲夫 西嶋和徳

監事 菊田久雄

(以上9名出席(委任状4名) / 役員15名)


《事務局》

公立大学法人大阪 ステークホルダー連携推進室 中井勝雅 玉沖さやか


《議事録署名人》

2022年3月16日

大阪府立大学校友会理事会議長(会長代行)

津戸正広 

大阪府立大学校友会副会長

山口舞子 

大阪府立大学校友会会計理事

原田敦史 

令和3年度大阪府立大学校友会第5回理事会議事録

《日時》 令和4年3月29日（火）13時～14時20分

《場所》 ZOOM

《議事》

議事に先立ち、事務局から理事会の成立要件（会則 第12条 第5項、出席者名簿は別添）を満たしている旨の報告とともに、会議の形態をズーム会議として開催することについて了承を得た。また、仁科会長が議長として理事会を進行することの承認を得て議事に移った。

1. 4月以降の事務局について

事務局(中井)より資料1-1に基づき、4月以降の校友会事務局についての説明がなされた

大学のステークホルダー連携推進室から事務局が分離されること、および公立大学校友会の設立で府大校友会の事務局機能が減少していくことが見込まれる状況を鑑みて、事務局の開所時間の段階的見直しが提案され

- ・2022年4月より、開所時間を公立大学校友会と合わせて10:00～17:00とする事が承認された（現在：9:00～17:00）
- ・2022年5月以降、開所日を週3日程度に減らす事については、業務状況を見ながら引き続き検討する事となった（現在：週5日）

現在、府大校友会勤務のアルバイトスタッフの4月以降の契約更新が提案され承認された

4月以降、事務局長の平田が公立大学校友会の雇用になることに伴い、府大校友会業務を公立大学校友会に業務委託することの提案がなされ、承認された

(上記は、「会則第12条4(6) その他、会長が必要と認める事項」として、理事会で審議、承認された)

2. 府立大学校友会からの公立大学校友会への業務委託 覚書きについて

事務局(中井)より資料1-2に基づき、覚書きについて説明がなされ、「会則第12条4(6) その他、会長が必要と認める事項」として、理事会で審議、承認された

3. 公立大学校友会の準備状況について

事務局(平田)より資料2-1に基づき、公立大学校友会事務局の体制整備状況について説明がなされた

＜質問＞

公立大学校友会で開設したメールアドレスのドメインは？

→当面は大学外のドメインで、大学ドメインのアドレスでない。

開設した3つのメールアドレス（問い合わせ用、卒業生用、在学生用）の使い分けは？
→校友会HPでの問い合わせフォームにて、質問形式で対象者を絞り適切なメールアドレスに導く工夫をする事で迷いが生じない様、使い分けをしていく

4. 大阪公立大学校友会設立総会次第案について

事務局(中井)より資料2-2に基づき、大阪公立大学校友会設立総会(案)について説明がなされた

総会の成立要件や議決の条件、委任状の取り扱いなど、会則でもう少し細かく決める方が良いのではないかという意見があった

出席者

《校友会役員》

会長 仁科亮子
副会長 津戸正広 東野 亨 辻川吉春 山口舞子
会計理事 木下里香
理事 岩崎泰典 藤田勝久 北畠哲夫 西嶋和徳
監事 菊田久雄 矢本博三


(以上 12名出席(委任状1名) / 役員14名)


《事務局》

大阪府立大学 校友会 事務局 平田 有美
公立大学法人大阪 ステークホルダー連携推進室 中井勝雅 玉沖さやか

《議事録署名人》

2022年5月9日

大阪府立大学校友会 理事会議長(会長) 仁科亮子 

大阪府立大学校友会 副会長 辻川吉春 

大阪府立大学校友会 監事 菊田久雄 

令和4年度大阪府立大学校友会第1回理事会 議事録

令和4年度大阪府立大学校友会第1回理事会が、令和4年6月6日（月）午後13時30分より、ZOOMにて開催された。

議事に先立ち、事務局から理事会の成立要件を満たしている旨の報告とともに、また、会議の形態がZOOM会議を基本として開催することになったことについての承認を得て、理事会の成立を確認した後、仁科会長の挨拶があり、仁科会長が議長となって議事に移った。

《議事》

1. 評議員の交代等について

大学法人評議員の交代について説明があり、了承された。

同窓会の会長変更等に伴い評議員が変更になることの説明があり、了承された。

2. 役員の交代等について

同窓会の会長変更等に伴い役員が変更になることの説明があり、了承された。

3. 校友会入会状況について

事務局から資料3に基づき、令和3年度の校友会入会状況について説明があった。

4. 令和3年度事業・収支決算について

事務局から資料4-1に基づき、令和3年度に実施した卒業生による就職セミナー（卒業生との懇談会）、白鷺賞の贈呈等の事業について報告がなされた後、木下会計理事から、資料4-2に基づき令和3年度の収支決算等について報告、そして菊田監事から資料4-3に基づき監査報告がなされ、それぞれ了承された。

5. 令和4年度事業計画について

議長から資料5に基づき、令和4年度事業計画について提案がなされた後、1～10の項目について事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

6. 令和4年度予算について

議長から、資料6に基づき、令和4年度予算について提案がなされた後、事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

府大校友会事務所移転については了承され、令和4年度事業計画に盛り込んだら良いとのご意見を頂いた

7. 大阪公立大学校友会の状況について

事務局から、資料7-1に基づき、大阪公立大学校友会 設立総会（案）と大阪公立大学校友会役員（案）についての説明があった。

事務局から、資料7-3に基づき、大阪公立大学校友会への入会状況が説明された。

事務局から、資料7-4に基づき、大阪公立大学校友会広報 WG からの報告事項である HP 運用についての説明がされた。

8. 大阪府立大学創基 140年記念事業について

ステークホルダー連携推進室 村上課長代理から、資料8-1、資料8-2に基づき、創基 140年事業について説明と、ご寄付についての状況説明があった。

(質問)

府大アーカイブズWEB サイトについての質問があり、サイト内容については対象の単位同窓会へ個別にお願いをさせて頂いているとの回答があった。

<その他>

(1) 校友会事務所の開所時間の変更が承認された。

変更前：毎日(月～金) 9:00～17:00 → 週3日(月・水・金) 10:00～17:00


(2) 今回の理事会議事録署名人として西畠和徳理事及び矢本博三監事が指名された。

《議事録署名人》


大阪府立大学校友会理事会議長(会長)

仁科亮子 

大阪府立大学校友会 理事

西畠和徳 

大阪府立大学校友会 監事

矢本博三 

大阪公立大学校友会第一回総会議事録

- 日時 2022年6月11日(土) 14時～15時
- 出席者 会場72名 オンライン38名 総数110名
- 配付資料 大阪公立大学校友会第一回総会議案書
- 議事

来賓の公立大学法人大阪理事長西澤良記氏の挨拶に続き、事務局より議事録署名人として小川泰彦氏、香川佳之氏の両監事を指名した。

事務局より議案書に基づき、「報告第1号 校友会設立までの経緯」、「議案第1号 校友会会則について」、「議案第2号 役員選出について」の内容を説明した。

以上の報告案件、議案についての質問、意見はなかったため、評決をとり、全員賛成で承認された。

引き続き、会長に就任した岡本直之氏から挨拶があり、その後、会則に基づいて議長として議事を進行した。

事務局より議案書に基づき、「議案第3号 2022年度事業計画案について」と「議案第4号 2022年度予算案について」の内容を説明した。

会場参加者から以下の質疑がなされ、それぞれ事務局並びに会長が回答した

質疑1：事業計画(案)について、引き続き各大学で実施(旧府大、旧市大が実施)し、
今後は各事業についての実施は精査するとの事だったが、今回の線引きはどの様にされたのか

回答1：両大学の関係者が集まり協議してきた 両大学に共通しているものは公立大校友会
で実施し、卒業生に關係している事業は既存の府大校友会もしくは市大全学同窓会で
実施する。同じような事業については今後統合していく
線引きや取捨選択するというようなものではない

質疑2：同窓会の支援事業や講座等は今後なくなっていくのか

回答2：今後も引き続きの実施を考えている

質疑3：第2号議案に記載されている役員の所属に“〇〇会”とあるが、公立大学校友会と
いう大きな枠の中で単位同窓会が残ると考えてよいか
もしくは、一括して一つの校友会になるのか

回答3：(存続は)既存の同窓会の意思で決定して頂く
公立大学校友会と単位同窓会で師弟關係があるわけではない
全体として公立大学校友会がある、と理解して頂いたら良い

最後に、「報告第2号 事務局体制、ホームページ開設について」を事務局より報告した。

その他の質疑はなく

議長の岡本会長が降壇し、総会が終了した。その後、記念講演会が開催された。

上記議事内容を確認した。

大阪公立大学校友会会長 岡本 直之

岡本直之

大阪公立大学校友会設立総会議事録署名人 小川 泰彦

小川泰彦

大阪公立大学校友会設立総会議事録署名人 香川 佳之

香川佳之

大阪公立大学校友会第1回理事会議事録

○ 日時 2022年6月2日(木) 15:00-16:30 オンライン会議

○ 出席者 (敬称略 会長、会長代行以外は50音順)

会長	岡本 直之
会長代行	津戸 正広
副会長	生野 弘道
副会長	仁科 亮子
理事	小西 洋太郎 (欠席)
理事	小林 俊介
理事	斉藤 寿士
理事	菅野 正嗣
理事	辻川 吉春
理事	畑 徹
理事	東野 亨
理事	松本 美知子
理事	三宅 眞実
理事	山口 舞子
理事	山田 昭正
理事	吉田 稔
理事 (学内)	大塚 耕司
理事 (学内)	橋本 文彦
監事	小川 泰彦 (欠席)
監事	香川 佳之
事務局	平田 有美 宮川 庄一、黒山 泰弘
オブザーバー参加	大学事務局 SH 連携推進室 (清水、村上、辻本氏)

○ 配布資料

資料1 校友会設立の経過について
資料2 大阪公立大学校友会役員案
資料3 大阪公立大学校友会会則案
資料4 2022年度校友会事業計画案
資料5 2022年度校友会予算案
資料5 (参考資料) 貸借対照表
資料6 校友会設立総会の開催について
参考資料1 新同窓会事業検討資料 (準備理事会資料)
参考資料2 事務局体制

○ 議事 () 内は発言者・敬称略

事務局から資料確認を行った後、参加者が自己紹介した。その後岡本会長の挨拶があり議事に入った。

① 校友会設立の経過について

事務局より資料1に基づいて総会時に説明する校友会設立に経緯について説明した。この件について、特に質疑はなかった。

② 大阪公立大学校友会役員案について

事務局から資料2に基づいて役員案を説明した。この件について、特に質疑はなかった。

③ 大阪公立大学校友会会則案について

事務局から資料3に基づいて会則案を説明した。この件について、特に質疑はなかった。

④ 2022年度校友会事業計画案について

事務局から資料4に基づいて事業計画案を説明した。なお、大学事務局SH連携推進室より以下の補足説明があった。

- ・ 学長の意向もありホームカミングディの開催日は中百舌鳥、杉本キャンパスで学園祭が開催されている11月5日(土)となる予定。また、両キャンパスでの開催となる見込み。

⑤ 2022年度校友会予算案について

事務局から資料5に基づいて予算案を説明した。この件について、特に質疑はなかった。

⑥ 校友会設立総会の開催について

事務局から資料6に基づいて設立総会の開催概要を説明した。この件について、特に質疑はなかった。

上記の説明終了後評決を取り、参加者全員の賛同を得た。議事録署名人2名は会長と協議し事務局から依頼することとなった。

⑦ その他

その他の質疑は以下のとおり。

- ・ 単位同窓会や地域支部等について、公立大学〇〇同窓会(支部)と名乗りた

- いという要望を聞く。一定の制限のもと、すでに活動を始めている地域同窓会（支部）は名乗ってもらってもよいと考えるが意見を聞きたい。（津戸）
- ・ 学部、学科等の単位同窓会については統合に向けて関係者で協議されていると聞いている。また、地域同窓会（支部）統合に向けた検討を事業計画にあげ予算計上しているので慎重な対応が必要では。（仁科）
 - ・ 名称も含めて単位同窓会の活動を校友会として認定することが必要と考える。まずは単位同窓会、地域同窓会の要望状況を把握し、認定基準等について理事会等で議論してはいかがか。（三宅）
 - ・ 会費納入を校友会と同時に実施した 15 の単位同窓会が公立大学〇〇同窓会と名乗るのは問題ないとする。名称変更を希望している地域同窓会の状況がわからないと判断できない。（吉田）
 - ・ 理事会として、地域同窓会（支部）の状況が正確に把握できない中で認定するのは困難ではないか。（仁科）
 - ・ 単位同窓会、地域同窓会の名前はその団体が決めるべきで理事会で意見を言うことではないと考える。府大、市大での地域同窓会の構成や成り立ちが異なるので勝手に公立大学〇〇同窓会と名乗ることは問題がある。ただ、課題があり詳細な協議が必要な地域（例えば府大、市大の両方の組織がある東京、岡山、名古屋、広島の各地区）以外はスムーズにいくのではないかと。早急に理事会内部で協議してはいかがか。（山田）
 - ・ 団体が名称を決めるのは基本的に自由であり、それに校友会が関与できるのは利害が生じるかの判断に基づく。これを論点として整理した上で、理事会としては議論することが望まれる。（三宅）
 - ・ 入学した学生の入会率は。総会の出席状況は。（仁科）
→入会率は 80%程度である。総会には会場参加 40 名、オンライン参加 22 名、総数約 60 名の参加連絡がある。（事務局）
 - ・ 総会に関してホームページに掲載する必要があるなら連絡いただきたい。教職員等への総会開催の連絡はいかがか。（山口）
→HP の件は了解した。教職員等への個別案内はしていない。単位同窓会も含めた同窓会 HP への掲載のみである。（事務局）
 - ・ 事務局体制について、参考資料 2 により説明した。

上記議事内容を確認した。

大阪公立大学校友会会長 岡本 直之

岡本 直之

大阪公立大学校友会副会長 生野 弘道

生野 弘道

大阪公立大学校友会副会長 仁科 亮子

仁科 亮子

【報告事項 4】 大阪公立大学機械工学科同窓会の設立について

令和4年7月17日（日）に中百舌鳥キャンパス学术交流会館にて大阪公立大学機械工学科同窓会の設立総会が開催され、設立経緯の説明の後、会則案・役員案・事業計画案・予算案について出席者より承認を得た。その結果、令和4年4月1日（金）に遡って大阪公立大学機械工学科同窓会が設立されたこととなった。

大阪公立大学工学部機械工学科同窓会

設立総会議案書

議 案

- (1) 設立までの経緯の説明
- (2) 会則案の説明
- (3) 役員候補の紹介
- (4) 初年度（2022年度）事業計画案
- (5) 初年度（2022年度）予算案

2022年7月17日（日）14:00～15:30

於：大阪公立大学中百舌鳥キャンパス 学術交流会館

(1) 設立までの経緯について

令和4(2022)年4月より、大阪府立大学(以下、府大という)と大阪市立大学(以下、市大という)が統合されて大阪公立大学(以下、新大学という)が発足することに先立ち、令和2(2020)年末頃より開始された府大と市大の同窓会関連組織間の協議により、工学部に関しては、学科別同窓会を新たに発足させるという方針が定まった。

これを受けて令和3年(2021年)4月より、府大の現機械工学科同窓会から前会長様をはじめとするご代表と、市大工学部同窓会の機械工学科卒の代表(市大工学部同窓会副会長)が中心メンバーとなって設立準備ワーキンググループを構成し、新たな機械工学科同窓会の立ち上げに向けての協議が開始された。同ワーキンググループでは、以下のような概要がまとめられ、この概要は府大機械工学科同窓会の理事会、市大工学部同窓会の評議員会の承認を経て現在に至っている。

【基本的な考え方】

新大学の機械工学科同窓会は、現府大機械工学科同窓会の会員と、市大工学部同窓会の会員のうち、機械系(機械工学科、知的材料工学科)に属する会員が合流し、新大学の機械工学科や機械系研究科、さらには前身大学該当学科や該当研究科の教員をも会員に擁して発足するとともに、新大学発足後、毎年4月に機械工学科の新入生を新会員として迎える、というものである。但し、早くとも、府大の現機械工学科と市大工学部の最後の卒業生が出る2025年3月までは、府大の現機械工学科同窓会と市大の工学部同窓会が併存することになる。2025年4月以降のいずれかの時点で現府大の機械工学科同窓会と、現市大工学部同窓会が活動を停止したとき、現府大機械工学科同窓会の会員と、現市大工学部同窓会の会員のうち機械系に属する会員の新大学の機械工学科同窓会への合流が完成することになる。

【財務に関する考え方】

新大学の機械工学科同窓会は、合流元の現府大の機械工学科同窓会会員および市大工学部同窓会の機械系の会員から新たに会費を徴収しない。したがって、新大学の機械工学科同窓会の活動は、当分の間、2022年4月以降毎年新入生から徴収する終身会費(20,000円)を収入とし、これをもって賄うことになる。これに対して、新入生からの終身会費収入を新たに会費の徴収を行わない合流元の会員に対するサービスに使うといいのか、との意見が出るのが予測されるが、この点については、例えば、現府大の機械工学科同窓会および現市大工学部同窓会が活動を停止した後は、両者の財産を合理的に新大学の機械工学科同窓会の財産に組み入れる予定とすることにより、すでに合流元の同窓会に納入した会費がいずれ新大学の機械工学科同窓会からの自らへのサービスに使われ、または新大学の機械工学科同窓会の財産として活用されるということで理解していただけるのではないかと考えている。

(2) 大阪公立大学工学部・機械工学科同窓会会則【案】

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は「大阪公立大学工学部機械工学科同窓会」と称する。

(目的)

第2条 本会は大学との連携交流や会員相互の親睦をはかり、大阪公立大学の発展ならびに工業技術の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会はその目的達成のために次の事業を行う。

1. 大学との交流及び会員相互の親睦事業
2. 会員名簿の維持管理および会報の発行
3. 科学・技術情報の交換
4. その他本会の目的達成に必要と認める事項

(事務局)

第4条 本会は事務局を大阪公立大学工学部機械工学科内に置く。
また評議員会の承認を得て支部を置くことができる。

第2章 会 員

(会員)

第5条 本会は、以下の会員をもって組織する。

1. 正会員 付則3に記載した会員
2. 特別会員 第11条および第12条に記載した特別会員

(会費)

第6条

1. 正会員は、付則2に定める会費を付則2に定める方法により納入しなければならない。
2. 正会員のうち、大阪府立大学機械工学科同窓会および大阪市立大学工学部同窓会の会員または会員であった者からは、新たに会費を徴収しない。

第3章 役員と評議員

(役員と評議員)

第7条 本会に次の役員と評議員を置く。

1. 役員
会長 1名
副会長 2名
専務理事 2名
庶務理事 若干名
会計理事 若干名
常務理事 若干名
監事 2名
上記の外に学内理事(若干名)を置くことができる
2. 評議員 原則として各科、各期1名 大学院修了者若干名

(役員・評議員の選出)

第8条 役員および評議員は以下の方法により選出する。

1. 会長、副会長、専務理事、庶務理事、会計理事、常務理事は正会員の中から評議員会の承認を得て選出する。
2. 学内理事は大阪公立大学在職会員の推薦による。

3. 監事は役員会で推薦し、評議員会の承認を得なければならない。
4. 評議員は各科各期の推薦による。

(役員の仕事)

第9条 役員の仕事は次の通りとする。

1. 会長は会務を統理し、この会を代表する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時は会長の職務を代行する。
3. 専務理事は会務処理を掌る。
4. 庶務理事は専務理事を補佐し、会員名簿の維持管理、会報の発行等の諸事務処理を掌る。
5. 会計理事は会計事務を掌る。
6. 常務理事は会務を処理する。
7. 監事は会計事務の監査を行い評議員会に報告する。

(役員の任期)

第10条 本会の役員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし改選期外の就任役員の任期は次期改選期までとする。

第4章 特別会員

(特別会員)

第11条 本会に特別会員として名誉会長・相談役・顧問を置く。

(特別会員の推薦)

第12条 特別会員は以下の方法により選出する。

1. 名誉会長には会長経験者、相談役には副会長経験者および専務理事経験者を推され、評議員会の議を経て総会に報告する。
2. 顧問は会員中より推され、評議員会の議を経て総会に報告する。

第5章 会議

(総会)

第13条

1. 総会は、会長が必要と認めたとき、または全会員の5分の1以上の請求があったとき、会長が招集する。
2. 総会の決議は出席者の過半数により成立する。

(役員会)

第14条

1. 役員会は、会長、副会長、専務理事、庶務理事、会計理事、常務理事、学内理事および監事で構成し、会長が招集する。
2. 役員会は、本会の事業、会計、その他会の運営に必要な案件を審議する。また、評議員会の審議案件を提案する。

(評議員会)

第15条

1. 評議員会は、会計年度の当初および会務の遂行上必要と認めたとき、会長が招集する。
2. 評議員会は、役員および評議員で構成する。
3. 評議員会は、評議員の10分の1以上(委任状を含む)により成立し、決議は出席者の過半数により成立する。

第6章 会計

(経費)

第16条 本会の経費は、終身会費、寄付金およびその他の収入をもってあてる。

(会費)

第17条 会費の種類は終身会費とし、付則に定める額は必要に応じて評議員会の議を経て変更すること

ができる。既納の会費は、中途退学の場合を除き、返還しない。

(会計年度)

第18条 本会の会計年度を4月1日より翌年3月末日までとし、毎年度毎に会計監査を受け、会計報告および監査報告を次年度中に、何らかの方法で全会員に公表しなければならない。

第7章 会則の改正

(会則の改正)

第19条 会則は、評議員会の決議により改正することができる。

〈付則の改正〉

第20条 付則は、役員会の決議により変更することができる。

第8章 付 則

付 則 1 (会則の発効)

この会則は、令和4年4月1日をもって効力を生じる。

付 則 2 (会費)

1. 正会員は、下記の金額を下記の方法により会費として納入しなければならない。
会費金額 20,000円 (ただし、終身会費として)
納入方法 原則として入学時に所定の振込方法にて納入する。
2. 寄付金は申し出により随時会費として受け入れることができる。
3. 会費は教職員会員からは徴収しない。

付 則 3 (会員の定義)

1. 大阪公立大学
 - ① 大阪公立大学工学部機械工学科 在学生および卒業生
 - ② 大阪公立大学大学院工学研究科で機械系専攻の在学生および修了生
 - ③ 上記在学生、卒業生および修了生が所属する学科および工学研究科の現教職員および旧教職員
2. 大阪府立大学
 - ① 母体校会員
 - ・官立大阪高等工業学校および官立大阪工業専門学校 機械科、精密機械科、原動機械科、船用機関科 卒業生
 - ・旧大阪府立淀川工業専門学校 機械科 卒業生
 - ・旧大阪府立機械工業専門学校 機械科、原動機科、精密機械科 卒業生
 - ② 浪速大学会員
 - ・浪速大学工学部 機械工学科 卒業生および大学院修了生
 - ③ 大阪府立大学会員
 - ・大阪府立大学工学部 機械工学科 卒業生
 - ・大阪府立大学大学院工学研究科で機械系専攻の在学生および修了生
 - ④ 教職員会員
上記在学生、卒業生および修了生が所属する学科の現教職員および旧教職員
3. 大阪市立大学
 - ① 大阪市立都島工業専門学校(機械工学関連学科) 卒業生
 - ② 大阪市立大学理工学部 機械工学系関連学科 卒業生
 - ③ 大阪市立大学工学部 知的材料工学科 卒業生
 - ④ 大阪市立大学工学部 機械工学科 在学生および卒業生
 - ⑤ 大阪市立大学大学院工学研究科で機械物理系専攻の在学生および修了生
 - ⑥ 上記在学生、卒業生および修了生が所属する学科の現教職員および旧教職員
 - ⑦ 大阪市立大学工学部同窓会理事会で推薦して大阪市立大学工学部同窓会会員となった者
 - ⑧ 特別準会員

付 則 4 (評議員の経過措置)

1. 本会則の発効時点で現に大阪府立大学機械工学科同窓会の各科各期推薦による理事である者は、原則として本会則第7条2.の評議員となる。
2. 本会則の発効時点で現に大阪市立大学工学部同窓会の機械系学科に属する評議員である者は、原則として本会則第7条2.の評議員となる。
3. 前2項による同期の評議員が2名以上存在する場合、評議員会における各期の議決権数は、1個として数えるものとする。

(3) 2022年度(初年度)役員案

会 長	吉田 稔
副会長	菊田久雄 脇本辰郎
専務理事	石原正行(総務) 伊与田浩志(総務)
庶務理事	黒木智之(広報/会員) 桑田祐丞(会報)
会計理事	水谷彰夫 伊与田浩志
常務理事	藤田勝久
監事	吉永洋一

(4) 2022年度(初年度)事業計画案

1. 同窓会設立総会の準備および実施
2. 会報第1号の発行(2023年3月に府大機械工学科同窓会会報との合併号を予定)
3. 同窓会ホームページの開設および運用(ホームページの開設は実施済)
4. 卒業生・在校生のためのセミナー等の実施予定(費用は府大機械工学科同窓会が負担予定)
5. 在校生への支援・機械工学に関連する課外活動支援(検討中)
6. 役員会・評議員会の開催
7. 府大機械工学科同窓会会員と市大工学部同窓会会員のうち機械系会員とを統合した会員名簿の作成および管理
6. 全学校友会との連携

(5) 2022年度(初年度)予算案

【収入】

終身会費 20,000円×100名=2,000,000円

合計 2,000,000円

【支出】

会報の発行および設立総会案内送付 1,200,000円

評議員会・役員会開催費用 50,000円

情報交流サロン 0円

ホームページの作成 250,000円

委託業務費(名簿管理・HP管理・案内状発送等) 400,000円

予備費 100,000円

合計 2,000,000円

機械工学科同窓会 2021年度 決算報告書および資産目録

1. 決算報告書(2021年4月1日より2022年3月31日まで)

収入の部			本年度	前年度	支出の部			本年度	前年度
1. 前年度繰越金			¥20,054,675	¥20,763,691	1. 会費		¥21,368	¥25,046	
2. 会費収入			¥620,000	¥618,000	年会費二重払い		0	0	
年会費 小計	130件		260,000	348,000	終身会費二重払い		0	0	
今年度(振込)	98件		196,000	226,000	振込手数料		21,368	23,396	
今年度(直接徴収)	0件		0	0	その他(会費過払い返金含む)		0	1,650	
次年度(直接徴収)	31件		62,000	110,000	2. 運営費		¥390,388	¥379,883	
その他年度(振込)	1件		2,000	12,000	人件費		12,000	1,000	
終身会費 小計	12件		360,000	270,000	旅費・交通費		0	0	
一般(振込)	12件		360,000	270,000	通信費		0	840	
新入会員(直接徴収)	0件		0	0	印刷・事務用品費		2,232	195	
会費過払い分など	0件		0	0	会議費		0	0	
3. 会報収入	0件		¥0	¥0	web名簿制作・運営費, 業務委託費		376,156	377,848	
広告料(振込)	0件		0	0	3. 会報発行費		¥880,785	¥934,011	
雑収入	0件		0	0	編集印刷費(振込)		574,801	621,907	
4. 参加費収入	0件		¥0	¥0	発送費(振込)		305,214	311,664	
理事会懇親会(直接収入)	0件		0	0	雑費(振込)		770	440	
理事会懇親会(振込)	0件		0	0	4. 事業費		¥84,392	¥117,773	
新入会員歓迎会	0件		0	0	理事会・懇親会諸費		0	0	
その他	0件		0	0	新入会員歓迎会諸費		84,392	117,773	
5. 利息収入			¥252	¥1,697	理事交通費		0	0	
定期預金			251	1,694	特別事業費		0	0	
普通預金			1	3	特別事業・企画通信費		0	0	
6. 雑収入	5件		¥236,000	¥128,000	ロボコン支援		0	0	
その他	0件		0	0	情報交流サロン会講演料		0	0	
校友会同窓会活動支援金	1件		163,000	19,000	海外渡航費補助		0	0	
寄付(振込)通知No2	1件		10,000	5,000	5. 雑支出		¥0	¥0	
寄付(振込)通知No3	1件		3,000	4,000	慶弔費		0	0	
寄付(振込)通知No9	1件		50,000	100,000	その他		0	0	
寄付(振込)通知No15	1件		10,000		6. 次年度繰越金		¥19,533,994	¥20,054,675	
収入項目2～6の合計			¥856,252	¥747,697	支出項目1～5の合計		¥1,376,933	¥1,456,713	
収入の部総計			¥20,910,927	¥21,511,388	支出の部総計		¥20,910,927	¥21,511,388	

2. 資産目録(2021年3月31日現在)

	本年度	前年度
近畿大阪銀行普通	0	421
三井住友銀行普通	1,311	1,141
三菱UFJ銀行普通	1,127,859	8,563
郵便局	398,002	37,325
振込口座(会費)	0	0
振込口座(会報)	0	0
近畿大阪銀行定期	0	0
三井住友銀行定期	10,000,000	10,000,000
三菱UFJ銀行定期	8,000,000	10,000,000
現金	6,822	7,225
合計	¥19,533,994	¥20,054,675

2. 収入明細書

注) 左端から 伝票番号/コード/内容/金額

2 会費収入関連			¥620,000
-	011 年会費 (振込)	98件	196,000
-	011 年会費 (直接徴収)	0件	0
-	013 他年度会費 (振込)	1件	2,000
-	015 終身会費 (振込)	12件	360,000
1	012 新会員年会費 (直接徴収)	31件	62,000
	016 新会員終身会費 (直接徴収)		0
3 会報収入関連			¥0
-	021	0件	0
4 参加費収入関連			¥0
	031 理事会懇親会参加費 (直接徴収)	0件	0
-	031 理事会懇親会費 (振込)	0件	0
5 利息収入関連			¥252
-	051 定期利息		251
	(内訳) 三菱UFJ銀行※		81
	三井住友銀行		170
	近畿大阪銀行		0
-	055 利息		1
	(内訳) 郵便貯金		1
	三菱東京UFJ銀行		0
	三井住友銀行		0
	近畿大阪銀行		0
	※ 1000万円途中解約、800万円定期預け入れのため 定期の金利は0.010%から0.002%へ低下		
6 雑収入関連			¥236,000
2	049 校友会同窓会活動支援金		163,000
	044 寄付 (振込) 通知No2	1件	10,000
	044 寄付 (振込) 通知No3	1件	3,000
	044 寄付 (振込) 通知No9	1件	50,000
	044 寄付 (振込) 通知No15	1件	10,000

3. 支出明細書

注) 左端から 伝票番号/コード/内容/金額

1	会費関連		¥21,368
	-	113 振込手数料 ※窓口は203円、ATMは152円	21,368
2	運営費		¥390,388
	人件費		¥12,000
	3	121 校友会入会手続きアルバイト代	6,000
	4	121 校友会入会手続きアルバイト代	6,000
	通信費		¥0
	印刷・事務用品		¥2,232
	5	124 フラットファイルなど	¥1,132
	20	124 包装紙	¥1,100
	web・名簿システム制作・運営費および業務委託費 (振込)		¥376,156
	6	126 web運営費および業務委託費	24,200
	7	126 web運営費および業務委託費	48,400
	8	126 web運営費および業務委託費	72,235
	9	126 web運営費および業務委託費	31,997
	10	126 web運営費および業務委託費	24,200
	11	126 web運営費および業務委託費	24,200
	12	126 web運営費および業務委託費	46,327
	13	126 web運営費および業務委託費	31,997
	14	126 web運営費および業務委託費	24,200
	15	126 web運営費および業務委託費	24,200
	16	126 web運営費および業務委託費	24,200

3. 支出明細書


3	会報発行費	¥880,785
	編集印刷費（振込）	¥574,801
	17 131 会報・名簿発行費	574,801
	発送費（振込）	¥305,214
	17 131 会報郵送費	305,214
	雑費（振込）	¥770
	17 131 会報発行業者への振込み料金（窓口他行あて）	770
	※定期一部解約のときに振り込み依頼	
4	事業費	¥84,392
	理事会・懇親会諸費	¥0
	141 理事会お茶代	0
	141 理事会懇親会	0
	新入会員歓迎会諸費	¥84,392
	18 142 表彰式（記念品）	29,700
	19 142 入会記念品（オリジナルタンブラー）	54,692
	理事交通費	¥0
	122 理事会交通費	0
	その他（海外渡航旅費補助）	¥0
	149 海外渡航費補助	0
5	雑支出	¥0
	その他	¥0

大阪府立大学機械工学科同窓会 2021年度 会計監査報告

会計帳簿、証拠書類ならびに通帳を監査した結果、適正に執行されていたことを認めます。

2022 年 6 月 19 日

会計監査委員

西川 嘉康 

大阪府立大学機械工学科同窓会 2021年度 会計監査報告

会計帳簿、証拠書類ならびに通帳を監査した結果、適正に執行されていたことを認めます。

2022 年 6月26日

会計監査委員

蒲生恵司



2022/9/11

機械工学科同窓会理事会

2022年度 理事役員・役職交代及び退任(敬称略・順不同)

役員新任

- 工機70-R4 未定

役員退任

- 大精3-S18 : 藤原 啓 (物故)
- 機原4-S25 : 大野 虎夫 (物故)

役職退任

- 顧問 : 大精3-S18 藤原 啓

機械工学科同窓会 2022 年度役員名簿

2022.9.11 現在

期一卒業年	役職	氏名	期一卒業年	役職	氏名	期一卒業年	役職	氏名
大機1 -S16		専務理事に委嘱	工機1 -S28		有田 幹雄	工機50 -H14		船越 裕二
大機2 -S17		専務理事に委嘱	工機2 -S29	名誉会長	青木 正昭	工機51 -H15		牧野 允人
大機3 -S18		専務理事に委嘱	工機3 -S30		大野 茂夫	工機52 -H16		藤枝 英樹
大機4 -S19		専務理事に委嘱	工機4 -S31		専務理事に委嘱	工機53 -H17		内田 陽介
大機II4-S20		専務理事に委嘱	工機5 -S32		専務理事に委嘱	工機54 -H18		田村 雄一
大機5 -S20		専務理事に委嘱	工機6 -S33		専務理事に委嘱	工機55 -H19		佐野 浩司
大機II5-S21		専務理事に委嘱	工機7 -S34	名誉会長	橘 寛雄	工機56 -H20		松村 玲
大機6 -S22		専務理事に委嘱	工機8 -S35		太田 廣	工機57 -H21		黒田 裕之
大機II6-S22		専務理事に委嘱	工機9 -S36		谷川十三夫	工機58 -H22		野田 友彬
大機7 -S23		細野 正守	工機10 -S37		豊田 正喜	工機59 -H23		荒金 恵美
大機II7-S23		粕井 寛	工機11 -S38	名誉会長	明石 博	工機60 -H24	庶務会報	桑田 祐丞
大機8 -S24		専務理事に委嘱	工機12 -S39	名誉会長	藤田 勝久	工機60 -H24		中村 大輔
大機9 -S25		我谷 康之	工機12 -S39	常務	北出 篤夫	工機61 -H25		吉田 昂太
大機10 -S26		専務理事に委嘱	工機13 -S40	常務	赤井 富一	工機62 -H26		光永 聖
大精1 -S16		専務理事に委嘱	工機13 -S40	会長	吉永 洋一	工機63 -H27		小田宗治郎
大精2 -S17		専務理事に委嘱	工機14 -S41		東野 耿二	工機64 -H28		津山 拓也
大精3 -S18		専務理事に委嘱	工機15 -S42		井上 久弘	工機65 -H29		平野晋太郎
大精4 -S19		専務理事に委嘱	工機16 -S43		石川 皓一	工機66 -H30		未定
大精5 -S20		専務理事に委嘱	工機17 -S44		中馬 義孝	工機67 -H31		未定
大精6 -S22		専務理事に委嘱	工機18 -S45		坂田 克郎	工機68 -R2		未定
大精7 -S23		専務理事に委嘱	工機18 -S45	名誉会長/監事	西川 嘉康	工機69 -R3		未定
大精8 -S24		専務理事に委嘱	工機19 -S46		杉元 民夫	工機70 -R4		未定
大精9 -S25		専務理事に委嘱	工機19 -S46	副会長	水谷 茂	大学院 -S34		専務理事に委嘱
大精10 -S26		専務理事に委嘱	工機20 -S47	常務	政友 公平	大学院 -S44		嶋橋 安廣
大原1 -S16		専務理事に委嘱	工機21 -S48		脇谷 俊一	大学院 -S56		石田 良平
大原2 -S17		専務理事に委嘱	工機22 -S49		伊藤誠太良			
大原3 -S18		専務理事に委嘱	工機23 -S50		綾野 良孝			
大原4 -S19		専務理事に委嘱	工機24 -S51		長田 信隆			
大原5 -S20		専務理事に委嘱	工機25 -S52		大多尾義弘			
大原6 -S22		専務理事に委嘱	工機26 -S53		河下 一成			
大原7 -S23		専務理事に委嘱	工機27 -S54		石田 純一			
大原8 -S24		高木 規雄	工機28 -S55	常務	武田 郁夫			
大原9 -S25		専務理事に委嘱	工機29 -S56		上野 登			
大原10 -S26		柴沼 元	工機30 -S57	専務	菊田 久雄			
大舶6 -S22		専務理事に委嘱	工機31 -S58		上田 隆美			
大舶7 -S23		専務理事に委嘱	工機32 -S59		石川 猶也			
大舶8 -S24		専務理事に委嘱	工機33 -S60		有菌 祥一			
大舶9 -S25		田中 整	工機34 -S61		吉田 浩治			
淀機1 -S22		安藤 久	工機35 -S62		田頭浩一郎			
淀機2 -S23		専務理事に委嘱	工機36 -S63		山本 敏之			
淀機3 -S24		玉尾 匡	工機37 -H1		河村 隆介			
淀機4 -S25		専務理事に委嘱	工機38 -H2		木村 哲也			
淀機5 -S26		専務理事に委嘱	工機38 -H2		吉満 信彦			
機機1 -S22	常務	村山 乾一	工機39 -H3	監事	蒲生 恵司			
機機2 -S23		専務理事に委嘱	工機40 -H4		佐藤亜理州			
機機3 -S24		専務理事に委嘱	工機41 -H5		小林 靖弘			
機機4 -S25		専務理事に委嘱	工機42 -H6	専務	石原 正行			
機機5 -S26		矢木原邦雄	工機42 -H6		谷口 富洋			
機原1 -S22		専務理事に委嘱	工機43 -H7		松井 和昭			
機原2 -S23		専務理事に委嘱	工機44 -H8		馬場 正信			
機原3 -S24		専務理事に委嘱	工機45 -H9	会計	水谷 彰夫			
機原4 -S25		専務理事に委嘱	工機45 -H9		田中 清広			
機原5 -S26		専務理事に委嘱	工機46 -H10	庶務名簿	黒木 智之			
機精4 -S25		専務理事に委嘱	工機46 -H10		中村 泰浩			
機精5 -S26		香川 恭介	工機47 -H11		藤田 久士			
			工機48 -H12		森数 洋司			
			工機49 -H13		西海 博行			

協議事項 4 2022年度の活動について

	(2021年度実績)	
会報発行	880,015円	
理事会・総会	0円	
情報交流サロン	0円	
学業優秀賞の記念品	29,700円	
新会員入会パーティー	180,000円	(2018年度実績)
学生活動支援	0円	
大学院生海外渡航旅費援助	0円	
業務委託（名簿更新、Web、会報原稿受付等）	376,156円	
人件費	36,000円	(2019年度実績)
<hr/>		
合 計	1,501,871円	